

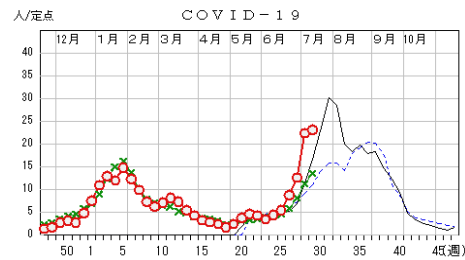
長崎県感染症発生動向調査速報（週報）

2024年第29週 2024年7月15日（月）～2024年7月21日（日）2024年7月25日作成

☆定点[※]報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患）の発生状況

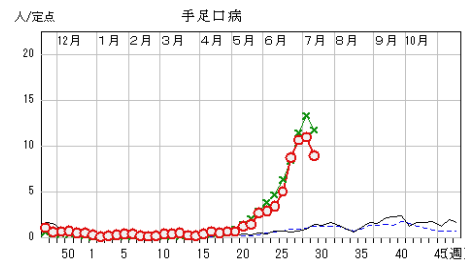
（1）新型コロナウイルス感染症

第29週の報告数は1596人で、前週より28人多く、定点当たりの報告数は23.13であった。
 年齢別では、10～14歳（213人）、50～59歳（180人）、40～49歳（174人）の順に多かった。
 定点当たり報告数の多い保健所は、壱岐保健所（43.67）、県南保健所（32.38）、県北保健所（30.75）であった。



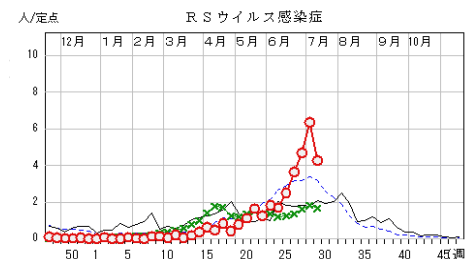
（2）手足口病

第29週の報告数は385人で、前週より98人少なく、定点当たりの報告数は8.95であった。
 年齢別では、1歳（122人）、2歳（62人）、3歳（56人）の順に多かった。
 定点当たり報告数の多い保健所は、県北保健所（16.33）、県央保健所（15.57）、佐世保市保健所（12.20）であった。



（3）RSウイルス感染症

第29週の報告数は183人で、前週より96人少なく、定点当たりの報告数は4.26であった。
 年齢別では、1歳（64人）、1歳未満（55人）、2歳（33人）の順に多かった。
 定点当たり報告数の多い保健所は、県南保健所（8.40）、佐世保市保健所（5.80）、長崎市保健所（5.50）であった。



○ 当年(長崎県) ー 前年(長崎県)
 × 当年(全国) - - - 前年(全国)

※インフルエンザ/COVID-19定点数：69、小児科定点数：43、眼科定点数：8、基幹定点数：12

☆上位3疾患の概要

【新型コロナウイルス感染症】

第29週の報告数は1,596人で、前週より28人多く、定点当たり報告数は23.13でした。地区別に見ると、壱岐地区（43.67）、県南地区（32.38）、県北地区（30.75）は他の地区より多くなっています。年代別では20代から60代で前週より増加しました。県全体で6週続けて増加していますので、今後も動向に注意しましょう。

本疾患の主な症状は、発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状で、主に飛沫感染や接触感染により感染します。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

【手足口病】

第29週の報告数は385人で、前週より98人少なく、定点当たり報告数は8.95でした。前週より減少しましたが、5週続けて警報レベルの報告数となっています。地区別にみても、五島地区、壱岐地区、対馬地区をのぞく地区で警報レベルが継続しています。

本疾患は、口腔粘膜および四肢末端に現れる水疱性発疹を特徴とする乳幼児に多いウイルス性疾患です。感染経路は、糞口感染、飛沫感染で水疱内容液からも感染します。手洗い、うがいを励行し、感染防止に努めましょう。原因ウイルスの種類によっては手足口病とともに無菌性髄膜炎や脳炎を併発させることもありますので、早めに医療機関を受診しましょう。

【RSウイルス感染症】

第29週の報告数は183人で、前週より96人少なく、定点当たりの報告数は4.26でした。地区別にみると県南地区（8.40）、佐世保地区（5.80）、長崎地区（5.50）は他の地区より多くなっています。昨年同時期よりも報告数が多くなっていますので、今後も予防に努めましょう。

本疾患は、発熱や鼻水が主な症状の呼吸器感染症で、通常は軽症で済みますが、6か月未満の乳幼児では、重い咳が出て呼吸困難や肺炎、脳症になることもあります。

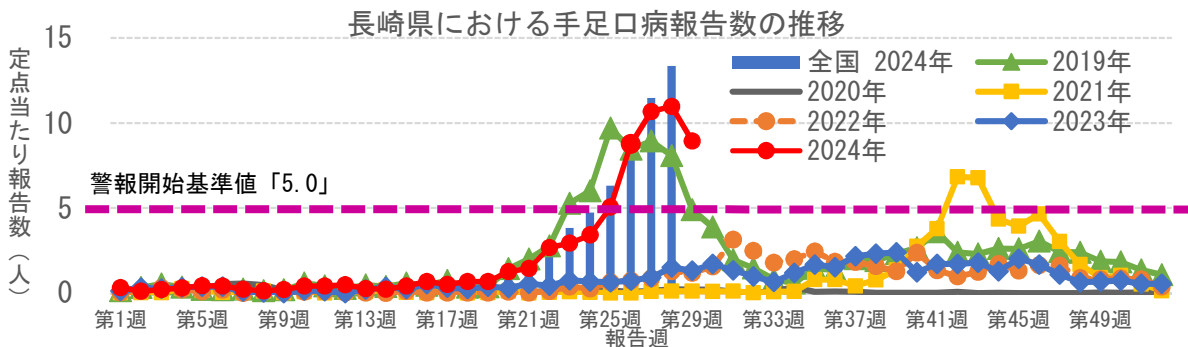
乳幼児には、手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診させましょう。

☆トピックス：手足口病が流行しています

手足口病は、四肢および口腔内に水疱性の発疹を生じる疾患です。主として咳やくしゃみなどのしぶきを介した飛沫感染や、飛沫や便に含まれるウイルスが手指を介して口から侵入する接触感染により広がります。基本的には予後良好な疾患ですが、原因ウイルスによっては、中枢神経系合併症などのほか、心筋炎、急性弛緩性麻痺などの多彩な臨床症状を併発することがあります。

長崎県の第29週の定点当たり報告数は「8.95」で、5週続けて警報レベル開始基準値「5.0」を超えました。地区別でも、10保健所のうち、五島、壱岐、対馬を除く7保健所で警報レベルの報告数となっています。年齢別では、2歳以下で約6割を占めています。

今後も手洗い、うがいを励行し、感染防止に努め体調管理に気をつけましょう。

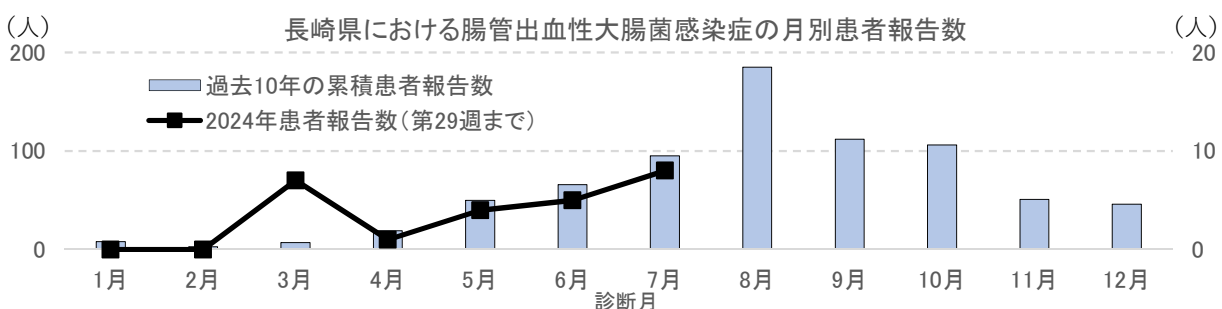


☆トピックス：腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう

腸管出血性大腸菌感染症は、O157やO26をはじめとした「腸管出血性大腸菌」による感染症です。主な感染経路は、菌に汚染された食品や患者の便で汚染されたものに触れた手を介した経口感染です。2日から9日の潜伏期間の後、腹痛・水様性下痢・血便などの症状を呈します。

例年8月に患者報告数が増加しますので、次の点に気を付けて、感染予防に努めましょう。また、症状があるときは速やかに医療機関を受診しましょう。

- 帰宅時やトイレ・オムツ交換の後、調理・食事の前には石鹸と流水で十分に手を洗いましょう
- 肉類を調理する際は十分に加熱しましょう
- 生肉を調理する際、器具は専用のものにするか、使用後すぐに十分な洗浄・消毒をしてから他の調理に使用しましょう
- 下痢症状のあるときは入浴は控え、シャワー浴または最後に入浴しましょう



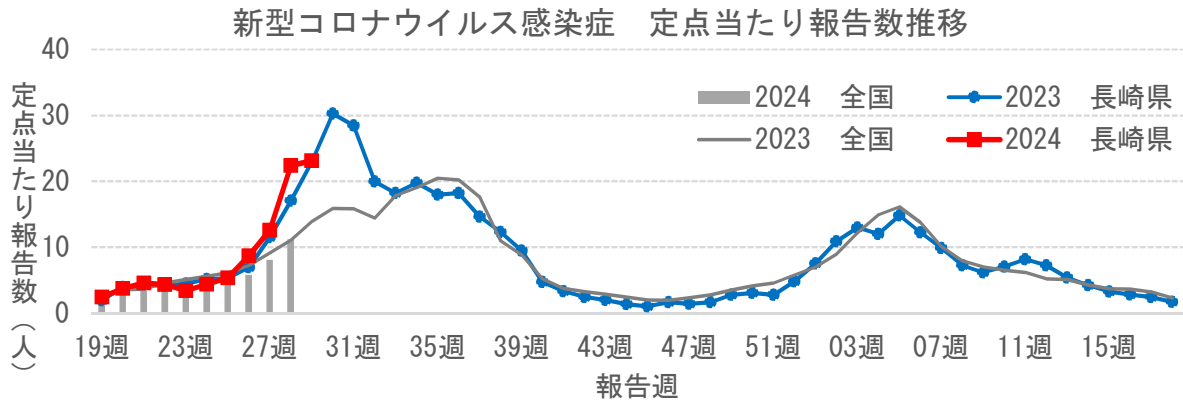
★トピックス：新型コロナウイルス感染症の報告数が増加しています

新型コロナウイルス感染症の長崎県における第29週の定点当たり報告数は「23.13」で、6週続けて増加しました。

地区別にみると、多くの地区で前週より増加し、壱岐地区（43.67）、県南地区（32.38）、県北地区（30.75）は他の地区より多くなっています。

年代別では、20代から60代でそれぞれ前週より増加しました。

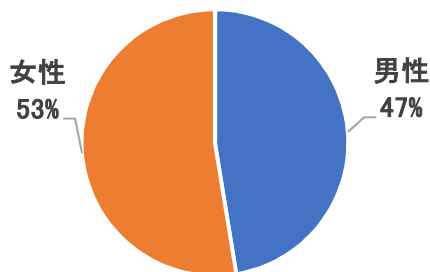
今後も動向に注視し、場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。



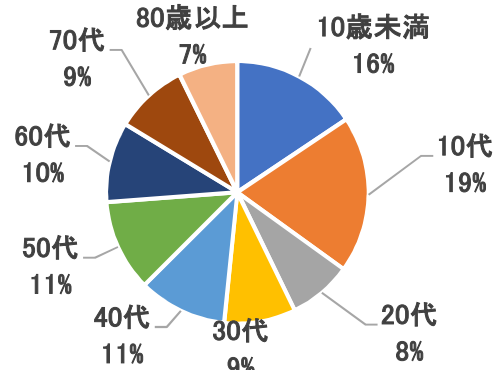
新型コロナウイルス感染症の保健所別報告数

| | 長崎県 | 佐世保市 | 長崎市 | 壱岐 | 西彼 | 県央 | 県南 | 県北 | 五島 | 上五島 | 対馬 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 報告数 | 1596 | 156 | 405 | 131 | 112 | 239 | 259 | 123 | 48 | 82 | 41 |
| 定点数 | 69 | 10 | 17 | 3 | 6 | 11 | 8 | 4 | 4 | 3 | 3 |
| 定点当たり報告数 | 23.13 | 15.60 | 23.82 | 43.67 | 18.67 | 21.73 | 32.38 | 30.75 | 12.00 | 27.33 | 13.67 |

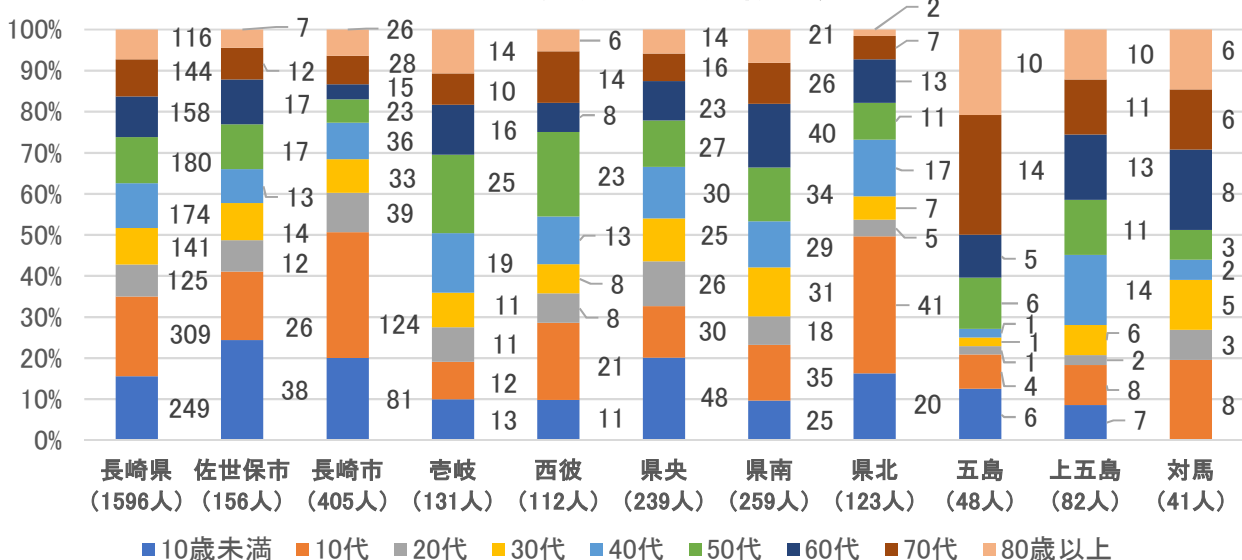
性別割合



年代別割合



保健所別年代別報告数



◆全数届出の感染症

- 2類感染症：結核 無症状病原体保有者 男性（50代・1名） 女性（50代・1名）
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 患者 男性（10歳未満・1名） 女性（10歳未満・1名、30代・1名）
無症状病原体保有者 男性（30代・1名）
- 4類感染症：日本紅斑熱 患者 男性（70代・1名）
レジオネラ症 患者 男性（70代・1名）
- 5類感染症(全数把握対象)：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 患者 男性（70代・1名）
梅毒 患者 男性（30代・1名、50代・1名）
無症状病原体保有者 男性（30代・1名）
百日咳 患者 男性（10代・1名）

◆定点把握の対象となる5類感染症

(1) 疾病別・週別発生状況 (第24～29週、6/10～7/21)

| 疾患名 | 定点当たり患者数 | | | | | |
|-------------------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 24週 | 25週 | 26週 | 27週 | 28週 | 29週 |
| | 6/10～ | 6/17～ | 6/24～ | 7/1～ | 7/8～ | 7/15～ |
| インフルエンザ | 0.09 | 0.04 | 0.20 | 0.39 | 0.56 | 0.13 |
| 新型コロナウイルス感染症 | 4.36 | 5.36 | 8.71 | 12.61 | 22.40 | 23.13 |
| RSウイルス感染症 | 1.70 | 2.50 | 3.64 | 4.70 | 6.34 | 4.26 |
| 咽頭結膜熱 | 0.91 | 0.84 | 0.82 | 0.34 | 0.30 | 0.28 |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 5.02 | 3.98 | 3.84 | 3.18 | 3.32 | 3.07 |
| 感染性胃腸炎 | 1.80 | 1.89 | 2.16 | 1.55 | 1.45 | 0.88 |
| 水痘 | 0.30 | 0.25 | 0.14 | 0.20 | 0.23 | 0.16 |
| 手足口病 | 3.41 | 5.05 | 8.77 | 10.68 | 10.98 | 8.95 |
| 伝染性紅斑（リンゴ病） | 0.05 | | 0.05 | 0.02 | | |
| 突発性発しん | 0.36 | 0.32 | 0.48 | 0.30 | 0.16 | 0.21 |
| ヘルパンギーナ | 0.30 | 0.39 | 0.86 | 1.18 | 0.84 | 0.53 |
| 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ） | 0.07 | 0.14 | 0.02 | 0.05 | 0.02 | |
| 急性出血性結膜炎 | | | 0.38 | 0.13 | | |
| 流行性角結膜炎 | 0.88 | 0.13 | 0.75 | 0.50 | 1.00 | 0.38 |
| 細菌性髄膜炎 | | | | 0.08 | | |
| 無菌性髄膜炎 | 0.08 | | 0.08 | | | 0.08 |
| マイコプラズマ肺炎 | 0.08 | 0.33 | 0.08 | 0.33 | 0.33 | 0.58 |
| クラミジア肺炎（おたふく病は除く） | | | | | | |
| 感染性胃腸炎（ロタウイルス） | | 0.08 | | | | |

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況 (第29週、7/15～7/21) ※赤字：警報レベル、青字：注意報レベル

| 疾患名 | 定点当たり患者数（県・保健所管轄別） | | | | | | | | | | |
|-------------------|--------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 県 | 佐世保市 | 長崎市 | 壱岐 | 西彼 | 県央 | 県南 | 県北 | 五島 | 上五島 | 対馬 |
| インフルエンザ | 0.13 | 0.40 | 0.24 | | | 0.09 | | | | | |
| 新型コロナウイルス感染症 | 23.13 | 15.60 | 23.82 | 43.67 | 18.67 | 21.73 | 32.38 | 30.75 | 12.00 | 27.33 | 13.67 |
| RSウイルス感染症 | 4.26 | 5.80 | 5.50 | 0.50 | 4.25 | 4.29 | 8.40 | 1.67 | 1.33 | | |
| 咽頭結膜熱 | 0.28 | | | 1.00 | | 0.43 | 0.40 | 1.67 | | | |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | 3.07 | 0.80 | 0.90 | 0.50 | 1.00 | 2.43 | 16.20 | 1.67 | | 1.00 | 4.50 |
| 感染性胃腸炎 | 0.88 | 1.80 | 0.90 | | 2.00 | 1.00 | 0.40 | 1.00 | | | |
| 水痘 | 0.16 | 0.80 | 0.10 | | | | 0.40 | | | | |
| 手足口病 | 8.95 | 12.20 | 10.20 | | 7.00 | 15.57 | 3.40 | 16.33 | 1.00 | 5.00 | 3.00 |
| 伝染性紅斑（リンゴ病） | | | | | | | | | | | |
| 突発性発しん | 0.21 | 0.60 | 0.20 | | | 0.29 | 0.20 | | | | 0.50 |
| ヘルパンギーナ | 0.53 | 0.40 | 0.80 | | 0.25 | 1.57 | | | 0.33 | | |
| 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ） | | | | | | | | | | | |
| 急性出血性結膜炎 | | | | | | | | | | | |
| 流行性角結膜炎 | 0.38 | | | | | | 3.00 | | | | |
| 細菌性髄膜炎 | | | | | | | | | | | |
| 無菌性髄膜炎 | 0.08 | | | | | 1.00 | | | | | |
| マイコプラズマ肺炎 | 0.58 | 1.00 | 0.67 | 1.00 | | 3.00 | | | | | |
| クラミジア肺炎（おたふく病は除く） | | | | | | | | | | | |
| 感染性胃腸炎（ロタウイルス） | | | | | | | | | | | |